

単糖から多糖の機能性拡張と 糖質修飾酵素の可能性

ブドウ糖、果糖などの単糖や澱粉、セルロースなどの多糖は栄養成分や繊維素材など様々な機能性により人類の生活を支えてきた。一方、糖質科学の分野においては、様々な糖質修飾酵素が発見、開発され、希少糖、抗う蝕性糖、ガラクトオリゴ糖など機能性低分子糖からキチン、キトサン、 β -1,3-グルカン、 α -1,3-グルカンなど難分解性多糖に由来する様々な機能性化合物が生み出されてきた。本シンポジウムでは、機能性糖質の応用から多様な糖質を生み出す糖質修飾酵素について、新進気鋭の研究者の皆さんにお話いただきます。

2026.9.17^木 開場・受付開始 13:30
14:00-17:00

立命館大学 びわこ・くさつキャンパス ローム記念館

PROGRAM

■ ローム記念館 5階 大会議室

シンポジウム 5階 大会議室

意見交換会(懇親会) 3階 資料展示室

14:00 シンポジウム開会挨拶

参加費:無料

竹田 篤史

生物資源研究センター センター長 / 立命館大学 生命科学部 生物工学科 教授

14:05 講演1

「酵素合成多糖類 α -1,3-グルカンの研究動向と機能性材料への展開」

蘇 正宇

東京大学大学院 農学生命科学研究科 生物材料科学専攻 博士課程3年生

14:45 講演2

「植物の真菌細胞壁多糖分解酵素の抗真菌作用 —キチナーゼと β -1,3-グルカナーゼの協調—」

高島 智也

立命館大学 生命科学部 生物工学科 助教

15:25 休憩

15:35 講演3

「From Fructose to Allulose: Understanding Rare Sugars, Their Functional Benefits, and Biosynthesis through Carbohydrate-Modifying Enzymes.」

講演言語: 英語

Pushpa Kiran Gullapalli

松谷化学工業株式会社 副主任研究員

16:15 講演4

「植物の生体防御を担うキシラナーゼ
阻害タンパク質の構造と機能および
サブファミリーの提唱」

大沼 貴之

近畿大学 農学部 生物機能科学科 教授

16:55 シンポジウム閉会挨拶

若山 守

生物資源研究センター 副センター長 /

立命館大学 生命科学部 生物工学科 教授

17:00 閉会

■ ローム記念館 3階 資料展示室

17:15 意見交換会(懇親会) (18:15終了)

参加申し込み



ローム記念館

立命館大学びわこ・くさつキャンパス
〒525-8577 滋賀県草津市野路東1丁目1-1

アクセス

JR琵琶湖線「南草津駅」で近江鉄道バス
「立命館大学行き」に乗り換え約20分

バス停

正門

グラウンド